

教員研修の場として宮城教育大学附属学校の活用を！

宮城教育大学附属学校園

実践・体験型教員研修

宮城教育大学附属学校園では、地域の先生方を「教員研修生」として受け入れ、オーダーメイドの研修を実施しています。

【例えばこんなご要望にお応えします】

- ✓ 小学校情報科の授業づくりについて体験を通して理解したい。
- ✓ 探究的な学習について附属学校の取組を体験したい。
- ✓ 自校の校内研究テーマについて深めるために、附属学校で実践したい。
- ✓ 附属幼稚園の自由保育を体験したい。
- ✓ 特別支援教育におけるICTの活用について理解したい。



研修内容は、所属長の派遣の意図やご本人の希望を踏まえ、打ち合わせをしながら実践・体験型の研修を計画します。

研修対象

小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園及び幼保連携型認定こども園に勤務する教員並びに教育委員会に勤務する職員で所属長が認めた者はどなたでも受け入れられます。

研修期間

1日もしくは連続・不連続の2～3日程度の研修とし、所属長と附属学校長等とで決定します。研修時期や日数については、ご相談ください。

研修内容

例えば以下の内容が考えられます。

- ・授業参観
- ・授業の解説
- ・附属学校教員との情報交換
- ・附属学校教員との教材研究
- ・附属学校教員との授業実践 (T1, T2として 単独で)

研修受け入れについてのご相談・お問い合わせ

まずは、附属学校長等へご相談ください。受入れ調整後、正式に依頼文書をご提出いただきます。

附属小学校	0 2 2 — 2 3 4 — 0 3 1 8
附属中学校	0 2 2 — 2 3 4 — 0 3 4 7
附属幼稚園	0 2 2 — 2 3 4 — 0 3 0 5
附属特別支援学校	0 2 2 — 2 1 4 — 3 3 5 3

裏面もお読みください

宮城教育大学附属学校 実践・体験型教員研修を受けられた先生方の声

本研修に教員を派遣した校長先生、教員研修生として研修した先生の声をまとめました

校長先生に伺いました。



貴職下職員の本研修への派遣にあたり、期待したことはどんなことですか？

初任層から中堅層へ移行する年代の教員に「学校を創る」楽しさを実感させることで、自身の教育や働き方について前向きな意識を持ってほしいと思いました。

附属学校で行っている最新教育課題への向き合い方と研究を自身の目で見て、日々の実践に生かしていこうとする意欲を更に持つことを期待しました。



期待された効果はいかがでしたか。また附属学校での研修意義についてお聞かせください。

研修以降、明らかに「積極性」が向上していると感じます。試行的な取組みに挑戦したり、校内会議への参加姿勢が変わり、学校全体を考えた発言が多くなっています。本研修は、「参観者」という視点ではなく、作り手側の視点で研修でき、その点が意識改革につながったと思います。世代交代が進んでいる中、若い世代で最新の教育課題に取り組んでいる附属学校での実践・体験型研修は、同世代の教員には刺激となり学校運営参画意識に良い影響を与えていると感じます。



公開研究会では決して参観することのできない、授業外での日常的な働きかけや、日常の授業で、どのように子供たちを鍛えているかを直接見ることで、自分が行っている教育活動について立ち止まり、改めて確認できる研修だと思えます。これまでは、「附属だからできる」とか、「うちの子供には無理」という消極的な姿勢でしたが、実際に附属学校の取組に触れ、「やってみたい」という意識に変化しています。若手の教員にこそ必要な研修と言えますね。



教員研修生の先生に伺いました。



本研修について、その後何か役に立っていますか。または、実践したり、取り入れたりしている附属学校の取組はありますか。

単元の見通しや評価を児童と共有しています。また、教師主導の一斉指導だけでなく、ファシリテーター的な役割でいることを意識して授業づくりに取り組んでいます。



他の先生にも本研修を勧めたいと思いますか。理由も併せて教えてください。

勧めたいと強く思います。というのも、自分の働き方や仕事に対する意識を見直すきっかけになったからです。附属学校で、日々どのように教科指導や研究に取り組んでいるか現場で見ることのできる貴重な機会でした。



附属学校で研修する意義をどのようにお考えになりますか。

これから求められる指導の在り方について、実際にどこまで研究されているか知ることができたのは大きかったです。



日々授業改善に努めることは、どこにいても重要であることを再認識しました。普段は経験豊かな先輩方に教えていただくことが多い中、同じ年代の先生方の取組は刺激になりました。



次代を担う先生方の研修の場として、宮城教育大学附属学校園をぜひご活用ください。

◆ 中学実技系教科教員の研修に ◆ 臨時的任用教員の研修に ◆ 特別支援学級担当教員の研修に

附属学校園の教員と共に磨きあう研修を